スムーズな流れ「内径R継手」の商品化支援

本田アドバイザーによる支援

新製品開発に伴う特許出願に ついて、茨城県知的所有権センターへの支援要請がキッカケとなり、支援を開始

特許出願戦略構築に向けたサポート

- ◆ 特許法制度の説明
- ◆ 中小企業向け支援制度の 紹介
- ◆ 特許電子図書館(IPDL)を 用いた先行技術調査方法 の指導
- ◆ 明細書作成の指導
- ◆ 特許活用における留意点 の説明

株式会社金山製作所

半導体部品や医療機器部品等の射出成形メーカとして、技術的に成形が不可能だった部品の形状と耐久性の改善に成功

- 特許を核とした優位な 製品販売戦略を確立し たい!
- 特許で同業他社の参 入障壁を築きたい!

特許情報活用による成果

先行技術調査から明細書作成 まで、全て自社で行ない

特許出願 1件特願2009-197631号

「メディカルクリエーション ふくしま2009」、「セミコン・ ジャパン2009」に出展!



この支援によって開発・販売された商品

商品名「内径R継手」

一発成形により、屈曲部がR形状のフッ素樹脂製管継手を開発しました。液体の流れがスムーズとなり、マイクロバブルの発生を抑えるだけでなく、接続部への負担を軽減し、液体漏れも抑制します。半導体製造装置及び医療機器向けに最適です。

支援先企業の概要

会社名 株式会社金山製作所

代表取締役 金山 福人

住所 茨城県石岡市国府 設立 1973 年

資本金 800 万円

ホームページ http://www.kanayama-ss.co.jp/

本田 卓(茨城県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

株式会社金山製作所はエンジニアリングプラスチック射出成形の専門メーカとして、設立以来、高度な成形技術の研究開発と生産技術向上に積極的に取り組まれています。

本商品は、ラピッドプロトタイピングと樹脂流動解析技術をベースに開発した新成形技術によるものです。半導体製造装置・医療機器関連の展示会において大きな反響があり、新聞等でも取り上げられました。今後の販売拡大が期待されます。



平成.22年1月現在